



第 20 刊
 2016 年 2 月 29 日発行
 Tsukuba for 3.11
 編集長：加古捺巳
 題字：小中大地

～目次～

だるま市	… P1	しゃべり場・イベント紹介	… P5
サロン祭り・ボラフェス	… P2	写真展番外編	… P6
写真展	… P3	おすすめスポット	… P7
リレーインタビュー	… P4	お楽しみコーナー・編集後記	… P8

双葉 だるま市

一月九日・十日 いわき市南台

一月九日、十日に、いわき市南台で行われた双葉町だるま市に、Tsukuba for 3.11 は、なごそ復興プロジェクトの出店のお手伝いとして、芝浦工業大学の学生さんたちと共に参加してきました。この「つくしま」をお読みになっている方の中にも参加された方が、いらっしやるかもしれませんね。

そんなだるま市について書かせていただきます！
 イベントには、たくさんのお店が出ていたり双葉町にゆかりのある方がステージでパフォーマンスをされたりするなど、大変盛り上がりつつありました。また、アーティストのキャンドルジュンさんや、「湘南乃風」というボーカルグループのメンバーである、若旦那さんもいらっしやっております。ステージでパフォーマンスを披露されていました。

先ほども書いた通り、今回の私たちの目的は出店のお手伝いでした。二日間通して、寒かったこともあり、私たちの販売していた豚汁・カレー・コーヒー・おしるこで温まっていたただけの方も多かったのではないのでしょうか？ 私たちも、販売していることを来ていただいたみなさんに知っていただけるように、若さを活かして声を張り上げながら宣伝いたしておりました！来年も売り上げに貢献していきたいと思えます！



↑豚汁とカレーとコーヒーで温まっていあただけましたかね？

また今回は、震災以降初の「だるま引き」が行われました。「だるま引き」とは大きなダルマに前後両方から縄を括り付け、西と東に分かれて綱引きをし、その年がどのような年になるかを、綱引きの勝敗で占うというものです。



↑晴天の下、神輿も行われました！

威勢のいいおとこたちでした。

今回から今まで使っていたものではなく新たなだるまを用いて行われました。私たちも参加させていただいたのですが、東西ともに拮抗した戦いとなっておりました！いい一年に、なるといいですね。

綱引きの中心で町民の方に囲まれながらも進んでいくであろう復興に向けて、力強く未来を見据えているように私の眼には映りました。

(野中 駿宏)

なごその希望プロジェクト2015

「サロン祭り&ダンスワークショップ発表会

十二月十八日に福島県いわき市の山田公民館にて、サロン祭りが開催されました！

私達はそこで、ワークショップとして「2016カレンダー制作」を開きました。二〇〇円で一枚の画用紙に、スタンプや色紙を使ってカレンダーを作ります。子供がとても楽しんでくれて、何度も遊びに来てくれた子もいました。親子で楽しんでもらえたのも嬉しかったです。

他にも松ぼっくりを使ったクリスマスツリー作りや、外ではおしるこ、焼きそば、カレーなどの販売もあり、十時から十五時まで飽きることなく楽しめました。

ホールでは子供達のダンスなどが見れ、クオリティの高さに驚きました。

なごそ復興プロジェクトや芝浦工業大学の人達と関わる事が出来、人と人とを繋いでいくことの良さに改めて気付かされました。



(担当：村本)

ボランティアフェスタ in つくば

二〇一六年一月二七日(日)、イーアスつくば店で開催された「ボランティアフェスタ in つくば」に参加してきました。これは、つくばの多様なボランティアの活動紹介や発表などを通して、活動団体の連携や活動内容の向上を図り、市民に助け合いの大切さを伝えるイベントです。

このイベントに、私たちも参加しました。あらかじめ割り振られた場所にポスターやチラシを貼り、つくしまをテーブルの上に展示しました。そして、当日参加したメンバーが自分の声で、「Tsukuba for 3.11」の活動内容を紹介し、写真展や交流会の案内をしてきました。

私たちのブースに立ち止まってポスターを見てくださったり、写真展に興味を持ち話しかけてくださった方がいたりして嬉しかったです。

ボランティアを行う人は、「誰かのために」「何かのために」という思いを抱いています。その「誰か」「何か」は子育てをする母親であったり、環境問題であったりと多様です。私たちは「東日本大震災」に目を向け、「被害に遭った人」「失われたもの」のために活動しています。まずは、それらの声に伝えられるように活動をしていきたいと思います。



担当 菊池礼花

Tsukuba for 3.11 では、筑波大学内で「Tsukuba for 3.11 写真展」を開催しました。この写真展では、東日本大震災から5年を経た今、被災地で活動している方々に焦点を当てています。

展示している写真はすべて私たち Tsukuba for 3.11 のメンバーが撮影したもので、このために取材に伺わせていただきました。

↓写真展の会場の様子。休憩スペースにもなっています。



Tsukuba for 3.11 写心展

日本に大きな被害を与えたあの震災から、今年2016年3月11日で満5年を迎えます。しかし、5年という月日を経ても、未だに街の復興は完全とは言えないのが現状です。



↑写真の他に、活動地域の地図や説明も付けました。

そんな中、被災した街の復興と、人々の生活を取り戻すために今でも活動している人がいます。今回の写真展では、その人たちの想いや心、活動の目標、そしてその姿を私たちの目線でとらえた写真を展示しています。今回は筑波大学内での開催でしたが、2016年3月8日～3月13日には、Biviつくば内 筑波大学サテライトオフィスにて写真展 第2弾を開催する予定です。宜しければ皆さん、ぜひ一度いらしてみてください。

☆リレーインタビュー☆ 星野 尊乗さん

今回は、つくば市の小学校で県外派遣教員として二年間活動されていた、星野尊乗さんにお話を伺いました。

星野さんは福島県内の小学校で教員をされていたが、震災当時担任をしていたクラスの数名が県外に避難したことをきっかけに、新たな環境で頑張っている子供たちを応援したいという思いで、県外派遣教員を希望されました。「福島で活動している先生はたくさんいる。しかし、県外に出て子供たちを見守ることが出来る先生は少ないのではないか。」星野さんの動かなければという気持ちがあった活動につながったのだと感じました。つくばでは、小学校の授業を受け持ちながら毎週金曜日に教育委員会に足を運び、避難している子供たちの保護者の方と進路相談などを行っていたそうです。学校では星野さんから積極的にコミュニケーションをとり、子供たちの話を聞くことを心掛けていたと話して下さいました。福島県近辺の六県にはこうした教員の方が派遣されており、茨城県には現在、県南と県北に一名ずつ県外派遣教員の方がいらっしゃるとのことです。「教員一人で解決することはできず、もどかしく思うときもあった。それでも、何かできることがあれば力になりたい。」とおっしゃった星野さん。五年が経過しようとしている現在では二年前と比較しても環境が大きく変化し、教員としての立場や役割も徐々に変化してきているといえます。「一歩一歩前に進んでいければ。」控えめな口調でしたが、星野さんが子供たちや保護者の方々のことを本当に考えていらっしゃるのだということが伝わってきました。

今でもつくばには年に一〜二回足を運び、時には卒業生と会うこともあるのだとか。中学生となった子供たちは、はじめこそ照れるものの、そのうち以前のように話してくれるそうです。このエピソードを聞いた際、学校という枠を超えたつながりを感じ、素敵だなど思いました。今後は人々との交流やつながりが大きなキーワードとなってくるのかもしれない。

つくばでは、前回のリレーインタビューでご紹介した、二ツ森さんが所属する「ルピナス」の活動にも参加されていたそうです。このような形で我々が今回星野さんと巡り合えたのも何かの縁。これからもリレーインタビューをはじめ、Tsukuba for 3.11の活動などで出会うあらゆる方々との出会いに感謝し、こうしたつながりを大切にしていきたいと思えます。次回はどのような方にお会いできるのでしょうか。



(黒田枝里)

しゃべり場

昨年の12月13日(日)、桜老人福祉センターで行われたしゃべり場に参加させていただきました。しゃべり場は、元気つく場会の古場さんが中心となり、毎月一回行われている交流会のことで、Tsukuba for 3.11からも毎月数名が参加させていただいています。

今回のしゃべり場は、クリスマス会ということで、いつもとは少し違った雰囲気だったのではないのでしょうか。午前中はビンゴ大会があり、それぞれが袋いっぱい景品を手にしていました。私もたくさんのお米を頂き、大変助かりました。午後は、巷で話題のカラオケ体操をしました。カラオケ体操とは、椅子に座った状態で、音楽に合わせて体を動かすもので、福島の避難所などでよく行われているそうです。大学生になってからなかなか運動する機会がない私にもとてもいい運動になりました。最初はセーターまで着こんでいた私ですが、最後はTシャツ一枚になっていました。

私は今回初めてしゃべり場に参加させていただいたのですが、参加者の皆さんはとても優しく、内容も面白く、これからも定期的に参加していきたいと思えました。

文責：名取 暁



イベント紹介

担当：高取

「えがお咲く！春のつくしま交流会 2016」

2月28日(日) 10時～15時(受付開始9時40分)(途中入退室可)

場所：並木交流センター (公共交通機関をご利用ください。)

参加費：300円 持ち物：エプロン、三角巾

(ご用意があればスリッパ、
キャンドル用の空き瓶をお持ちください)

Tsukuba for 3.11による、避難している方々・学生・一般市民のための交流会です。芋煮にワークショップ、体を動かすレクに落語まで！楽しい企画がいっぱいです！ たくさん笑って一足早く春を迎えましょう♪詳細はHPをご覧ください！

交流会担当：高取 090-4205-4784

「Tsukuba for 3.11 写真展 第2弾」

3月8日(火)～3月13日(日) (火～土)10時～21時 (日)10時～19時

場所：Bivi つくば 総合インフォメーションセンター (月曜定休)

1月に開催した写真展の続編です！取材場所も増え、より見応えのある展示になっています。

今伝えたい人がいる。今伝えたい想いがある。震災から「5年」のメッセージが届きますように。

どんな人たちが待っている
のかな？

不安だなあ・・・



〈参考書宅救便@成蹊大学

2015年11月21日(土)〉

1月19日(月)から2月1日(月)のおよそ2週間にわたり、筑波大学3学ラウンジにて開催された「Tsukuba for 3.11 写心展 震災から5年」今、知ってほしい人がいる 今、知ってほしい思いがある。開催期間中、平日のお昼には、多くの学生がランチを楽しみながら目にするというような光景が見られました。
本日は、残念ながら写真展では公開されなかった、未公開カットを取材内容とともに一挙公開します！

〈参考書宅救便〉

東日本大震災により被災した受験生へ学習教材を支援するために2011年3月17日に発足。以来、「被災した東北の中高生たちの夢を応援すること」を理念に掲げ、現在では、教材提供だけではなく、福島県南相馬市における学習支援にも力を入れている。メンバーは青山学院大学、成蹊大学など首都圏の大学を中心に構成されている。



「Tsukuba for 3.11 写心展 震災から5年 Message

～今、知ってほしい人がいる 今、知ってほしい思いがある～ 番外編

参考書宅救便の代表・大賀航介さん(写真右)。団体の良いところとして「支えてくれる人々」がいることをあげました。

大賀さんが取材を受ける中、その様子を頼もしそうに見つめていた前代表の嶋村千尋さん(写真右下)。嶋村さんはこれまでの活動を通して、「自分の好きなことを再確認」と語りました。

この取材では私自身、「人の力になりたい」という気持ちで始めたボランティアにも関わらず、いつの間にか自分のためになる経験をたくさんしていることに改めて気付かされました。

3月8日(火)～13日(日)には、Biviつくば2Fの筑波大学サテライトオフィスにて写真展を開催します(詳細はページ)。みなさまのご来場、お待ちしております！
(担当：霜島太一)



みなさん、良い人たちが
良かったー！



SORA CAFE & COOKING ROOM

今回はつくばにあるおしゃれなカフェをご紹介します！

二店内はとも落ち着いた雰囲気です。先日友達と実際にSORA CAFEに行ってみました。椅子や机もとてもおしゃれでした。注文したのは日替わりごはんプレート1200円。ワンプレートでもおしゃれなうえに、ボリュームもたっぷりで大満足。また、野菜もふんだんに使われており、バランスが良かったです。ごはんプレートのほかにもパスタやハンバーグなどのメニュー、ドリンク、デザートの種類も充実しているので選ぶのに迷う楽しみがあります。キッズプレートもメニューにあるので子供連れでも楽しめそうです。食後にはスイーツプレートもいただけるので、私はチーズケーキとガトーショコラにしたのですが、とてもおいしくすぐに食べきってしまった。夜ご飯としてお邪魔しましたが、大満足でした！SORA CAFEでは食事ができるほかに、バースデイケーキや焼き菓子を販売しています。バースデイケーキは食事のあとのサプライズとしてのほかに、テイクアウトもできます。サイズも4号から7号までと豊富です。そして、カフェスペースの一角では、クッキング・プレート教室も開催されています。



SORA CAFE & COOKING ROOM

Tel: 029-886-9750

営業時間: 11:30~21:00 (LO 20:00)

教室: 月・水・木...18:00~

/土...15:00~

定休日: 毎週火曜日※祝日の場合、翌日休業

〒305-0005

茨城県つくば市天久保 3-2-8

ウッディライフつくば 1F

~メンバー紹介~

穴田可奈子 (あなかな)

国際総合学類 1年

富山県小矢部市出身

・小矢部市はどんなところですか？

小矢部市は「メルヘンの町」と言われていて、市内の保育所や小・中学校は世界中の有名な建築物をまねて作られています！ちなみに私の小学校は、校舎は東大、体育館は一橋大を、中学校はオックスフォード大とベルサイユ宮殿をまねて作られています。

去年の夏には、北陸初のアウトレットモールがオープンしました！

・特技は何ですか？

特技が分かりませんが、小学校2年生から8年間フィールドホッケーをしていました！プチ自慢は全国大会で準優勝したことです。今でも実家に帰ったときはたまーにホッケーで遊んでいます(^^)

・マイブームは何ですか？

最近は暇さえあればDVDを観ています。一番はまったのは織田裕二主演の「アマルフィ」です。イタリア語がとてもかっこよかったです。最近は「外交官 黒田康作」を観ています。

・Tsukuba for 3.11 に入った理由は何ですか？

震災当時から、自分も被災地のために何かしたいとずっと思っていました。高校生の時はなかなか実行に移せず、大学進学とともにこの団体のことを知って「これだ！」と思って参加しました。実際に東北に行き、自分の目で震災の爪痕を見ることで多くのことを感じ、学びました。それらを少しでも多くの人に伝えていけるといいなと思います！



今回、紹介するメンバーはマキトさんと林さんです！マキトさんは香港からの留学生なんですよ〜！それでは、インタビューの様態をご覧ください☑

※A:私、B:マキトさん

A「お名前をフルネームで教えてください。」

B「林雋源 (ラム チョンエン)、マキトと呼ばれています。」

(なぜマキトと呼ばれているのか、これはつくふおーの七不思議の一つです)

A「年齢と学年は？」

B「21歳、3年生です。」

(高身長だからでしょうか、もう少し年上にも感じます)

A「出身はどこですか？」

B「香港です」

(ん〜香港！いいですね！香港のディズニーランドに一度は行ってみたいです)

A「日本にきてどのくらい経ちますか？」

B「4ヶ月になります」

(4ヶ月だけとは思えないほど流暢な日本語が話されています)

A「好きな日本料理を教えてください」

B「たこ焼き、TKG、豚汁、お好み焼きです！」

(マ、マキトさんっ！！TKG(たまごかけご飯)をご存知だなんて！?!?)

A「自分の国のオススメポイントはなんですか？」

B「茶餐廳 (チャチャンテン) 文化、広東語ですかね〜」

(チャチャンテン文化、可愛い響きです、気になります)

A「自分のチャームポイントはズバリ！?!？」

B「身長と芝居です…大道具としてですが(笑)」

(ああ、！なんだか複雑っ！！)

A「最後にメンバーに一言、お願いします！」

B「つくふおーのみんなは明るくて優しく、

本当に楽しい4ヶ月過ごせました。

新学期もよろしくね(^ω^)」



まだまだ、お聞きしたいことはたくさんありますが、

以上でマキトさんの紹介を終わります。

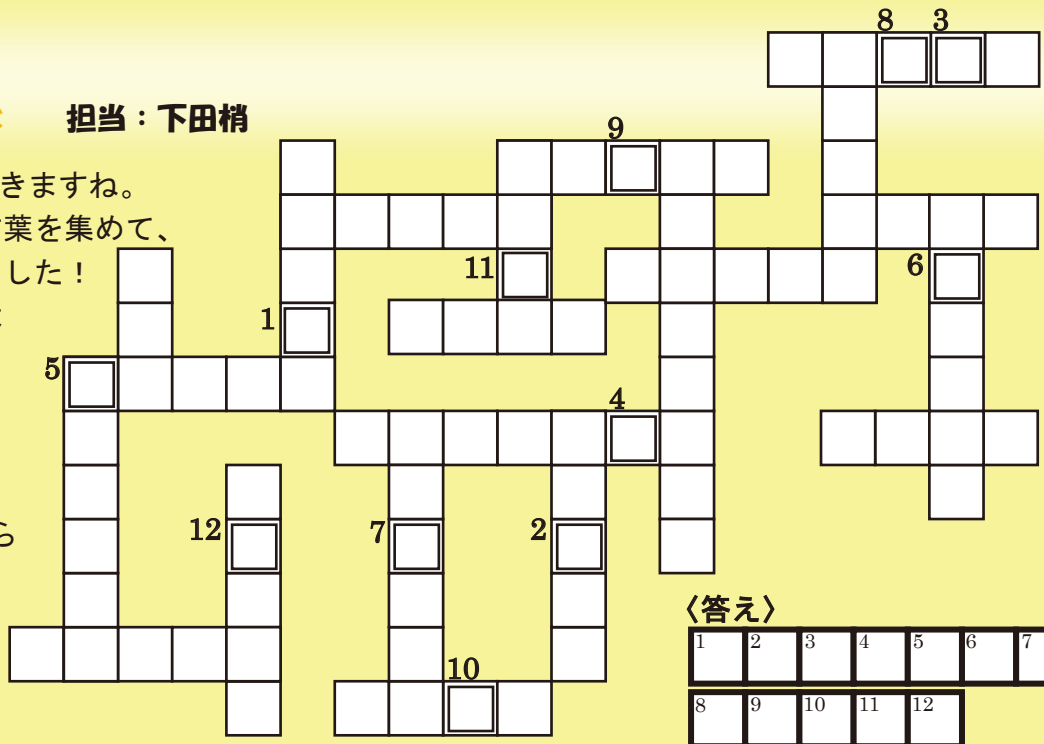
スケルトンクイズ

担当：下田梢

さて、2月も終わりに近づいてきますね。
 今回は、冬～初春にまつわる言葉を集めて、
 スケルトンクイズを作ってみました！
 寒くて外に出るのが億劫な日は
 こたつにあたりながら、
 クイズで一息ついてみては？

〈ルール〉

- ・右の枠の中に、「単語欄」から
 単語を選んで
 当てはめてみてください。
- ・単語は全てカタカナで、
 上から下、
 左から右の方向に入ります。
- ・全て当てはめたら、
 二重の枠で囲ってある文字を
 番号順に並べ替えてみてください。
 どんな文章が現れるでしょう？



〈答え〉

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12		

コタツ マフラー ユキドケ(雪解け) カマクラ(かまくら)
 カザハナ(風花) カンテン(寒天) ユキダルマ(雪だるま)
 ギンセカイ(銀世界) ウルウドシ(閏年) フユヤスミ(冬休み)
 フユゴモリ(冬ごもり) ダルマイチ(ダルマ市) ハツゴオリ(初氷)
 カンツバキ(寒椿) カンノイリ(寒の入り) ユキアカリ(雪明り)
 ユキガッセン(雪合戦) ハルイチバン(春一番) バレンタインデー
 ハルツゲドリ(春告げ鳥) フユショウグン(冬將軍)

【単語欄】

編集後記

編集長：加古捺巳

年が明けてあっという間に2ヶ月が経ちます。

寒い日が続きますがみなさん元気にお過ごしですか。

2016年最初のつくしま、楽しんでいただけたでしょうか。今年もよろしく願いいたします。

さて、今年はどうな一年になるでしょうか。どんな一年にしたいですか。

冬っていろんな思いを巡らせてしまう気がします。寒くてちょっと寂しくなったり、暖かい春に期待を寄せたり。

そんな思いも残しておきたくて、私は最近になってようやく日記をつけはじめました。

みなさんも何か新しいことを初めてみてはどうでしょうか。

改めて、今月号もお読みいただきありがとうございました！

次回は4月に発行予定です。お楽しみに！

以下のSNSで活動情報を発信しています。是非ご覧ください。

ホームページ：<http://tsukubafor311.jimdo.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/tsukubafor311/>

Twitter：<https://twitter.com/tsukubafor311>

Mail：tsukubafor311@gmail.com

